

平成 26 年 9 月 30 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ハリマ化成グループ株式会社に「SMB C 環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）はハリマ化成グループ株式会社（代表取締役社長：長谷川 吉弘）に対し、「SMB C 環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C 環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、ハリマ化成グループ株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境保全対策の取組みの状況」「環境ビジネスと環境コミュニケーション」「環境マネジメントシステム」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、①「自然の恵みをくらしに活かす」という基本理念のもと、マツ由来のバイオマス資源を核とした化学事業を展開し、環境配慮商品に対する顧客ニーズに応えた研究開発や商品展開を推進しておられる点、②環境への負荷を最小限にする生産システムとして、トール油精留プラントにバイオマス発電設備を備え、CO2 排出量削減に貢献しておられる点、③ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムのもと、年度目標と中期目標を定めて負荷低減活動を推進するとともに、認証取得範囲の拡大にも取り組んでおられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



環境・社会報告書
2014



マツ由来資源の松やに(ロジン)



バイオマス発電設備

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。